

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第450号 平成22年6月



『田植えのころ』 稲垣壮太郎

目 次

	頁		頁	
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	6) 同好会短信 ゴルフ部だより	田村啓彦 … 10	
2) 連載企画		7) 青梅市平日準夜間診療実施報告	野本正嗣 … 11	
	iPod から iPhoneへ、そして iPad へと続く道	8) 5歳児健診事業（東京方式）の実施について	池谷敏郎 … 12	
	菊池 孝 … 3	9) 理事会報告	広報部 … 13	
3) 日本医師会生涯教育制度実施要綱の改定について	江本 浩 … 5	10) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 16	
4) 専門医に学ぶ	森本繁夫 … 8	11) 表紙のことば	稲垣壮太郎 … 19	
5) 広報だより		12) お知らせ	事務局 … 20	
	「歌舞伎は楽しい」	桑子行正 … 9	13) あとがき	近藤之暢 … 20

感染症だより

〈全数報告〉

第16週(4/19-4/25)から第19週(5/10-5/16)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 5件(肺結核1件、肺外結核1件、無症状病原体保有者3件)

(五類感染症) 麻疹 1件(3歳 ワクチン接種歴有り 検査診断例:血清IgM抗体、発熱・咳・鼻汁・発疹)

〈管内の定点からの報告〉

	16週	17週	18週	19週
	4.19 ~ 4.25	4.26 ~ 5.2	5.3 ~ 5.9	5.10 ~ 5.16
RSウイルス感染症				
インフルエンザ				
咽頭結膜熱				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	8	3	3
感染性胃腸炎	31	31	23	24
水痘	3	3	3	6
手足口病				
伝染性紅斑	4	1	1	
突発性発しん	2		1	2
百日咳				
ヘルパンギーナ				
流行性耳下腺炎	3	1	2	4
不明発疹症	1			
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
合計	49	44	33	39

※基幹定点報告対象疾病(細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く))報告はありませんでした。

〈コメント〉

① インフルエンザの発生が減少しています。

管内定点からの報告は第13週(3.29~4.4)以降ありません。都内では定点当たりの報告数が第19週で0.05、全国では0.08です。2010年第11週(3.15~3.21)から2010年第18週(5.3~5.9)までに都内の定点医療機関からインフルエンザの臨床診断名で21検体が搬入されています。検出された病原体は、新型インフルエンザウイルスAH1pdm5件、インフルエンザウイルスB型4件、アデノウイルス1件、ヘルペスウイルス(6/7)1件でした。

② 流行性耳下腺炎の発生が続いています。

定点当たりの報告数は第19週では管内0.80、都内1.10、全国1.36です。都内では横ばい状態ですが過去5年平均と比較して、高いレベルで推移しています。

③ 感染性胃腸炎の発生が減少してきました。

管内の定点医療機関からの報告数は第19週で定点当たり4.80人で、東京都は7.13人、全国は8.19人です。増減を繰り返しながら減少していく傾向にありますが、都内では過去5年間の同時期と同じレベルになってきました。

2010年第11週(3.15~3.21)~2010年第18週(5.3~5.9)までに都内の定点医療機関から感染性胃腸炎の臨床診断名で23検体が搬入されています。検出された病原体はロタウイルス3件、ノロウイルス2件、アデノウイルス2件、ライノウイルス1件、その他のウイルス1件でした。

④ 水痘の発生が続いています。

定点当たりの報告数は、第19週では管内1.20、都内2.04、全国2.42です。都内では過去5年平均

と比較して高いレベルで推移しています。

⑤ A型肝炎の発生に注意が必要です。

管内では今年第11週から第15週に1件の報告がありました。昨年1年間では2件の報告でした。都内では2003年以降は1年間に30人前後の報告で推移していましたが、今年第19週までに28名の報告がありました。推定感染地は、東南アジア等海外での感染が約半数を占めますが、2010年1月以降は国内を推定感染地域とする届出が8割以上を占めています。飲食物を推定感染原因とする方の食事内容は、海外では不明の場合が多く、国内では魚介類が原因と推定される方が半数以上を占めています。

(文責：東京都西多摩保健所保健対策課)

連載企画

iPod から iPhone へ、そして iPad へと続く道

青梅市 きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

1. はじめに

この医師会報の連載記事では、主に電子機器関連を個人的テーマとして書いてきました。今回取り上げたいのは、「iPad」です。「iPad」とは何か？既にご存知の方は多いと思いますが、「iPod」、「iPhone」を発売しているアップルが米国では4月3日から発売を開始し、日本では5月28日に発売するタブレット型コンピュータの一種です。この号が皆様のお手元に届いているときには発売済みで、既に購入されている方も多いと思います。

2. iPad とは何か？

iPod とは？

アップル社によって設計及び販売されている携帯型デジタル音楽プレイヤーです。

iPhone とは？

アップル社製のスマートフォンです。

ちなみにスマートフォン (Smartphone) とは、携帯電話・PHS と携帯情報端末 (PDA) を融合させた携帯端末のことです。通常の音声通話や携帯電話・PHS 単独で使用可能な通信機能だけでなく、本格的なネットワーク機能、PDA が得意とするスケジュール・個人情報の管理など、多種多様な機能を持っています。

では iPad とは？

一般には先に述べたように、タブレット型コンピュータの一種です。

但し、その可能性は未知数で、使い方次第でどのようにも変化すると思います。

ちなみに iPad をマスコミ各社がどのように表現しているか？

調べてたら、各紙とも見事にバラバラ。びっくり。(by 荻窪 圭)

朝日→電子ブック端末

読賣→情報端末

毎日→新型マルチメディア端末

産経→多機能情報端末

日経→多機能携帯端末

つまり、iPad は簡単には説明できない可能性を秘めているといえます。

3. iPadによって何が変わるのか？

iPodによって何が変わったか？

レコード → カセットテープ → CD、MD → iPod

一番は、音楽の販売方法をダウンロード形式にした事です。

iPhoneによって何が変わったか？

黒電話 → コードレス電話 → 携帯電話 → iPhone

アプリケーション（いわゆるソフト）によって進化するスマートフォンを定着させた事です。

これによって電話を買い換えるのではなく、アプリケーション（以下アプリと略）を充実させることを定着させました。

もう iPhone をただの電話という人はいないでしょう。

それと同じように iPad なしでは困るという世界がやってくる可能性があります。

4. アップルの戦略

iPod は 2001 年 10 月 12 日、いわゆる 911 事件の陰でひっそりと発表されました。

発売時はなぜコンピューター会社であるアップルが携帯型音楽プレイヤーを発売したのか理解されませんでした。これにはアップルのしたたかな戦略がありました。

はじめ iPod は Mac でしか使用できませんでした。Mac でしか使えないため、市場としては小さいと判断し、4 大音楽レーベル（Universal Music Group、Sony BMG、Warner Music Group、EMI）は iTunes store でのダウンロード販売を認めました。

その後、アップルは iPod を Windows に対応させました。ここから流れは変わりました。

気がつくとも音楽販売は特に米国ではダウンロード販売の方が CD 販売より多くなっていたのです。

2003 年 4 月にスタートし、2010 年 2 月 25 日総曲数ダウンロード数は 100 億曲を突破しました。

次に iPhone です。

iTunes store の成功が既にあっただので、iTunes store で iPhone のアプリを販売する App Store を設け、そこからアプリをダウンロード販売しています。販売は大成功し、2009 年 9 月末で既に 20 億本のアプリがダウンロードされています。

iTunes Store は当初は音楽配信のみでしたが、現在では映画、ミュージックビデオ、テレビ番組、Podcast、iPod 向けゲーム、iPhone および iPod touch 向けアプリ配信そして米国では映画レンタルなど様々なサービスを提供しています。

そこに、この iPad です。

米国では、電子書籍の販売が既に始まっています。これが成功すれば雑誌、書籍のあり方が変わるでしょう。手元にいわれる書籍として残したいものと、iPad で読めれば良いものとの。

それ以外にも様々なものが iPad に対応する可能性があります。

5. おわりに

iPod によって音楽のあり方を変え、iPhone で電話のあり方を変えたアップルが、この iPad によって何を変えるか、何が変わるのか、これからの変化が楽しみです。

個人的には大変ワクワクしています。またこういう機器を医療にどう生かせるかを考えるのも楽しいです。

ぜひ iPad に触れてみて下さい。できれば購入してみて下さい。使い方は人によって様々です。そこにいろいろな意味での未来を体感できると思います。

日本医師会生涯教育制度実施要綱の改定について



今年度より生涯教育制度が大幅に改定されましたので、解説させていただきます。尚、制度変更に伴う暫定措置として、平成 21 年度の本制度において 10 単位以上取得した会員には 3 年間有効な認定証（平成 22 年 12 月 1 日付、平成 25 年 11 月 30 日まで）が発行されます。

制度の主な変更点は以下の通りです。

1. 1 単位あたりの学習時間を 1 時間（最小単位は 30 分で 0.5 単位）と規定した。
2. 日本医師会生涯教育カリキュラム 2009（平成 21 年 4 月号に同封）に沿って 84 種類のテーマ（病名、症候名や医療に関係する事柄など）をカリキュラムコード（以下 CC）と名付け設定した。（別表 1）。
3. これまで修了証（1 年間で 10 単位）と認定証（3 年間連続の場合）が発行されていたが今年度より、単位取得証（1 年ごとの単位取得状況の通知）と認定証（連続した 3 年間で合計 30 単位、30CC の取得が必要）に変更された。
4. 最小単位の 0.5 単位に対して ICC の所得が可能と規定した。

例えば、1 時間半の西多摩医師会主催学術講演会に出席した場合、1.5 単位、3CC を取得できます。医師会主催の講演会の場合は単位数と CC の種類（番号）がパンフレットまたは参加証に記載されています。仮に医師会主催の講演会のみで認定に必要な単位数（30 単位）を取得するには、1 回の講演時間が 1 時間半と仮定して、3 年間で 20 回程度（年間約 7 回）の出席が必要です。尚、30 単位で倍の 60 CC を取得できますが、同一 CC を取得しても加算されないため 30 種類の CC を取得するには実際には 40～50 単位（3 年間で 30 回、年間 10 回程度の出席）が必要ではないかと推定されます。

医師会主催の講演会以外に、日本医学会分科会 107 学会（別表 2）が開催する学会に出席することにより必要な単位と CC の取得が可能です。例えば、日本内科学会に 3 日間出席した場合、1 日 5 単位（上限）、3 日間参加すると 15 単位を取得でき、30 CC まで申告可能です。これらの学会に関しては CC の種類はあらかじめ設定されており、講演内容に合わせて自己申告により CC を選択し申告できるので効率が良いと思われます（勤務医や専門医が単位を取得しやすいように改定されたそうです）。

上記以外で、単位・CC を取得する方法には日本医師会雑誌の問題に回答、日本医師会生涯教育 on-line（日医 e-ラーニング）、体験学習、医師国家試験問題作成、臨床実習・臨床研修制度における指導、医学学術論文・医学著書の執筆などがありますが、これらの項目内容は昨年度までと変更はないようです。

以上、今年度からの変更点について解説いたしました。尚、詳細につきましては、日本医師会発行の小冊子を参照して頂きますようお願いいたします。学術部では、会員の要望に応えるべく、日常診療に役立つ講演会を開催してきましたが、今後は生涯教育制度にも整合するよう、できるだけ幅広いテーマの講演会を企画したいと考えておりますので、会員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

（学術部担当：江本 浩）

【別表1】

カリキュラムコード (略称: CC)

1 専門職としての使命感	28 発熱	57 外傷
2 継続的な学習と 臨床能力の保持	29 認知能の障害	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	30 頭痛	59 背部痛
4 医療倫理	31 めまい	60 腰痛
5 医師－患者関係と コミュニケーション	32 意識障害	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	33 失神	62 歩行障害
7 医療制度と法律	34 言語障害	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	35 けいれん発作	64 肉眼的血尿
9 医療情報	36 視力障害、視野狭窄	65 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	37 目の充血	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	38 聴覚障害	67 多尿
12 保健活動	39 鼻漏・鼻閉	68 精神科領域の救急
13 地域医療	40 鼻出血	69 不安
14 医療と福祉の連携	41 嘔声	70 気分の障害 (うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	42 胸痛	71 流・早産および満期産
16 ショック	43 動悸	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	44 心肺停止	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	45 呼吸困難	74 高血圧症
19 身体機能の低下	46 咳・痰	75 脂質異常症
20 不眠	47 誤嚥	76 糖尿病
21 食欲不振	48 誤飲	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	49 嚥下困難	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	50 吐血・下血	79 気管支喘息
24 浮腫	51 嘔気・嘔吐	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	52 胸やけ	81 終末期のケア
26 発疹	53 腹痛	82 生活習慣
27 黄疸	54 便通異常 (下痢、便秘)	83 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
	55 肛門・会陰部痛	84 その他
	56 熱傷	

※ 同一カリキュラムコードを重複して取得しても加算されません。

【別表2】

日本医学会分科会 (107学会)

日本アレルギー学会	日本公衆衛生学会	日本透析医学会
日本医学教育学会	日本交通医学会	日本糖尿病学会
日本医学放射線学会	日本呼吸器学会	日本動脈硬化学会
日本医史学会	日本呼吸器外科学会	日本東洋医学会
日本移植学会	日本細菌学会	日本内科学会
日本医真菌学会	日本産科婦人科学会	日本内視鏡外科学会
日本医療機器学会	日本産業衛生学会	日本内分泌学会
日本医療情報学会	日本耳鼻咽喉科学会	日本乳癌学会
日本医療・病院管理学会	日本周産期・新生児医学会	日本熱帯医学会
日本ウイルス学会	日本集中治療医学会	日本脳神経外科学会
日本衛生学会	日本循環器学会	日本脳卒中学会
日本衛生動物学会	日本消化器外科学会	日本農村医学会
日本栄養・食糧学会	日本消化器内視鏡学会	日本ハンセン病学会
日本疫学会	日本消化器病学会	日本泌尿器科学会
日本温泉気候物理医学会	日本小児科学会	日本皮膚科学会
日本解剖学会	日本小児外科学会	日本肥満学会
日本化学療法学会	日本小児神経学会	日本病理学会
日本核医学会	日本職業・災害医学会	日本平滑筋学会
日本眼科学会	日本自律神経学会	日本法医学会
日本癌学会	日本神経学会	日本保険医学会
日本感染症学会	日本神経病理学会	日本麻酔科学会
日本肝臓学会	日本人工臓器学会	日本脈管学会
日本癌治療学会	日本心身医学会	日本民族衛生学会
日本気管食道科学会	日本腎臓学会	日本免疫学会
日本寄生虫学会	日本心臓血管外科学会	日本薬理学会
日本救急医学会	日本人類遺伝学会	日本輸血・細胞治療学会
日本矯正医学会	日本生化学会	日本リウマチ学会
日本胸部外科学会	日本整形外科学会	日本リハビリテーション医学会
日本形成外科学会	日本生殖医学会	日本臨床検査医学会
日本外科学会	日本精神神経学会	日本臨床細胞学会
日本血液学会	日本生体医工学会	日本臨床腫瘍学会
日本結核病学会	日本生理学会	日本臨床薬理学会
日本血管外科学会	日本先天異常学会	日本リンパ網内系学会
日本血栓止血学会	日本大腸肛門病学会	日本レーザー医学会
日本口腔科学会	日本体力医学会	日本老年医学会
日本高血圧学会	日本超音波医学会	

(五十音順)
平成22年1月現在

専門医に学ぶ 第66回

問題

【症例】13歳 女児

【主訴】運動能力の低下。

【家族歴】特記事項なし。

【既往歴】先行感染なし。服薬なし。その他特記事項なし。

【現病歴】本児は中学で陸上部に所属しているが、短距離走の記録がここ最近著しく低下していたため顧問の先生から病院で貧血の検査を行ってくるよう指示されたため当院を受診した。貧血検査を行うも Hb 12.2 g/dl と貧血は認めなかった。また全身倦怠感を感じるものの、その他の自覚症状はなく、食欲は良好で偏食なし。体重減少、学力の低下等は認められず、筋肉痛はなかった。

【現症】身長 157.0 cm (+0.1SD)、体重 48.0 kg (-0.2SD)、BMI 19.5。

体温 36.4°C、脈拍 64/分、血圧 126/60 mmHg。

顔色良好。眼瞼結膜 貧血なし。心音 正常。腹部 異常なし。神経学的所見 異常なし。

甲状腺腫 2度 (七條分類) 瀰漫性 無痛。皮膚 湿潤。眼球突出なし。

【検査所見】WBC 9760/ μ l、RBC 456×10^4 / μ l、Hb 12.2g/dl、Ht 36.5%、Plt 22.3×10^4 / μ l、TP 6.5g/dl、Alb 3.9g/dl、AST 34U/l、ALT 51U/l、LDH 187U/l、CPK 146 U/l、BUN 14.4mg/dl、Cr 0.37mg/dl、UA 5.7mg/dl、Na 141.7mEq/l、K 4.12mEq/l、Cl 106.8mEq/l、CRP 0.18mg/dl、Fe 57 μ g/dl、UIBC 291 μ g/dl、フェリチン 58.2ng/ml。

〈内分泌検査〉TSH 0.005以下 μ U/ml、F-T3 24.7pg/ml、F-T4 7.77以上 ng/dl

考えられる疾患および追加したい検査は何か？



〈解答と解説〉 公立阿伎留医療センター 小児科科長 森本 繁夫

運動能力低下の原因検索で貧血ではなく甲状腺機能亢進 (甲状腺中毒症) 状態が認められた。甲状腺中毒症を診た場合多くがバセドウ病であるがその他、無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎、機能性結節性甲状腺腫 (Plummer病)、本症例には関係ないが妊娠に伴う甲状腺機能亢進症等が挙げられる。甲状腺腫が瀰漫性で痛みがないことから亜急性甲状腺炎、結節性甲状腺腫は否定的でバセドウ病と無痛性甲状腺炎の鑑別のため追加検査として甲状腺刺激抗体 (TSAb)、抗 TSH 受容体抗体 (TRAb) を測定したところ TSAb 1457%、TRAb 56.6%であったためバセドウ病と診断した。甲状腺抗体検査でほぼ間違いはないがまれに鑑別できないものもあるので、正確に鑑別するには放射性ヨード甲状腺摂取率を行うと良い。

バセドウ病は小児においては頻度が少なく、学童期に見られる症状として学業の低下があるが、今回のように運動機能の低下として現れるものもあるので鑑別疾患として念頭においておくことが重要と思われる。

広報だより

歌舞伎は楽しい

あきる野市 ゆき皮膚科クリニック 桑子行正

東京では馴染みの銀座の歌舞伎座が、高層ビルに建て替えるため、半世紀余りの歴史に幕を下ろした。私も1度だけ歌舞伎座に行ったことがあったが、役者のど派手な衣装・圧倒的で舞台の後方に居並ぶ壮観な音楽・エネルギーギッシュな舞踊など度肝を抜かれた記憶がある。

さて歌舞伎座、明治座、御園座、松竹座、博多座、南座など古い劇場には「座」という字がつきますが、「座」とは何でしょう。もともと芸能は神様をお迎えるの神事からおこりました。遠い所からおいでになる神様がおすわりになる所が、「横座」という場所です。この「横座」に神様を迎えることから、様々な芸能がおこり、今日の劇場に「座」がつくのもその名残りだと考えられます。

その一座の首長となる役者が座頭です。そして座頭を中心に一座を結成することを座組といいます。江戸時代の歌舞伎の座組は、だいたい1年単位で固定されるのが普通で、その交代の時期は毎年11月でした。新しい一座の顔ぶれを紹介する興行が「顔見世」です。現在、京都の冬の風物詩となっている南座の「京都顔見世」は師走に行われますが、江戸時代は11月に行われたものです。

この顔見世の前、興行主である「座元」は金と相談しながら慎重に座組を考えました。これらは現代の会社と同じようにシステム化されていました。歌舞伎の組織を統括するのが「座元」と「帳元」です。座元は座の幕府が許可した名義人のこと。帳元は専務取締役で、現代の経理部長も兼ねます。さらに「奥役」という役があり、今日でいうとプロデューサーです。その活躍範囲は多角的で、1年毎に出たり入ったりする俳優たちの取りまとめを行います。

奥役の手腕ひとつで、役者がやる気を起すか、投げ出すかも決まるのです。役者はいろいろな座を渡り歩くので、当然その掛け合いは強気です。これをうまく受け流しながらその気にさせるのは難しい交渉です。また奥役は役者の家庭内のもめごとなどにも精通し、

取りまとめなければなりません。

江戸幕府は長期安定政権だったため、その根本は世襲制度でした。武士は世襲によって成り立っていたので、町人も世襲を重んじて、「先祖代々」というものを信用の基本にしていました。そこで商売の営業権も世襲され、芝居も例外ではありませんでした。

江戸では当初は四座が公認され、京・大阪とも七座を許可したが、江戸四座はのちに三座となり、京・大阪も各二座となりました。江戸の場合、減少した原因は正徳4年に起った大奥年寄絵島の局と若手俳優生島新五郎の密会事件で、その現場となった山村座が取りつぶされたからです。

江戸三座は、その後も明治まで存続しましたが、座元が突然倒産して行方不明になると興行権が宙に浮いてしまうので、その用心のため、「控え櫓」を置きました。

控え櫓は、座元が経営不能になった時、ただちに興行を続行する権利を持ち、そのような状態の間は、前の座元の借金が一応たな上げになる仕組みでした。今でいう会社更生法のはしりのようなものでした。

江戸三座と控え櫓は次のようでした。

中村座（中村勘三郎）＝都座（都伝内）

市村座（市村宇左衛門）＝桐座（桐長桐）

森田座（森田勘弥）＝河原崎座（河原崎権之助）

（左が江戸三座で右がその控え櫓です。）

京都では、明治まで四条通りをはさんで南座と北座があつて、南座は都万太夫座、北座は早雲長太夫座、ともに元祖坂田藤十郎時代以来の名跡を継承して競合しました。

大阪は、中の芝居、角の芝居とって、中座、角座と称するのは明治末からです。

今まで述べてきたように歌舞伎の劇場は多くの人々によって支えられ、楽しまれてきたのです。新装となる歌舞伎座は、どんな劇場になるか楽しみです。そろそろこのへんでつたない文章も幕を引く（歌舞伎では幕を下ろすのではなく、三色の引幕です。）ことにしましょう。

同好会短信

ゴルフ部だより

福生市 田村皮フ科 田村 啓彦



去る4月25日、西多摩医師会コンペが東京バーディクラブにて開催されました。

4月に入って、地球温暖化どころかこのまま氷河期にでも突入かと思われるような寒い日が続き、休日の度の冷たい雨に泣く泣くキャンセルを余儀なくされ、欲求不満を募らせてきた会員も多かったようですが、コンペ当日は願いが通じたのか、久々の快晴・温暖なゴルフ日和に恵まれ、ただでさえアドレナリンの過剰放出に加え、ドラコン・ニアピンホールの他、何打目でも良いからピンに近い者の勝ちとするスペシャルニアピン賞も設定され、射幸心は

煽られ肩に力が入り、強い南風も相俟って多くの白球が白杭の彼方へ消えていくといった状況でした。これに高速グリーンも加わり、多くがスコアを崩すなか、かつて当コンペで2連続優勝の離れ業を果たした坂元会員が、青梅医師会ゴルフコンペ3連覇で勢いに乗る三島会員を下して、ベスグロでの3回目の優勝を飾りました。好調の馬詰会員が3位に入り一矢を報いたものの、4位には瀧川会員と、青梅勢の活躍が際立ったコンペでした。

次回は9月12日、次々回は11月21日、東京バーディクラブにて開催を予定しております。奮って御参加下さい。



順位	氏名	所属	イン	アウト	グロス	ハンディ	ネット	
優勝	坂元 龍	青梅	45	40	85	10	75	ベスグロ賞
準優勝	三島 淳二	青梅	47	41	88	13	75	ニアピン賞、大波賞
3位	馬詰良比古	福生	45	43	88	10	78	ニアピン賞、スペシャルニアピン賞
4位	瀧川 牧人	青梅	47	47	94	12	82	
5位	宮川 栄次	福生	50	45	95	13	82	
6位	田坂 哲哉	福生	46	51	97	15	82	
7位	横地喜代美	福生	50	52	102	20	82	ニアピン賞
8位	後藤 晋	青梅	51	47	98	15	83	ニアピン賞
9位	山川 淳二	羽村	53	51	104	18	86	
10位	田村 啓彦	福生	42	51	93	6	87	ドラコン賞
11位	會澤 義之	福生	55	59	114	26	88	
12位	横田 卓史	羽村	52	49	101	11	90	
13位	河内 泰彦	福生	52	51	103	13	90	小波賞
14位	渡辺 哲哉	羽村	53	51	104	14	90	ドラコン賞、スペシャルニアピン賞×2
15位	三井 理	福生	50	46	96	5	91	
16位	西村 律子	福生	58	53	111	19	92	
17位	松崎 潤	羽村	53	66	119	21	98	
18位	諸角 強英	福生	56	54	110	10	100	
19位	中田 芳孝	福生	60	67	127	24	103	スペシャルニアピン賞
20位	五十嵐秀郎	福生	74	68	142	36	106	
B.B.	渥美 浩	福生	57	61	118	10	108	
B.M.	堤 次雄	羽村	75	71	146	30	116	
N.R.	酒井 淳	青梅	43	—	—	3	—	

青梅市平日準夜間診療実施報告



青梅市医師会では、平成21年9月青梅市からの要請を受け、市民の要望に応えるべく去る5月10日（月）より平日準夜間診療を開始いたしました。東京都26市のうちでは14番目となり、西多摩地域では羽村市に次いで2番目となります。これにより既に行なっていた休日診療と合わせ、地域の時間外救急医療に365日対応できる体制となりました。

診療時間は月曜日から金曜日は午後7時45分～午後10時45分、土曜日は午後6時～9時の3時間、場所は青梅市健康センター内の青梅休日診療所において診療しております。これまでの受診者数は

5月10日（月）	6名	5月17日（月）	2名
5月11日（火）	3名	5月18日（火）	2名
5月12日（水）	1名	5月19日（水）	2名
5月13日（木）	1名	5月20日（木）	0名
5月14日（金）	3名	5月21日（金）	4名
5月15日（木）	13名	5月22日（土）	12名
小計	27名	小計	22名

合計12日間で49名とまだ少ないですが、今後市民へ周知が徹底され、またインフルエンザ等の感染症が流行すれば、機能を発揮し、地域の初期救急医療の充実に大いに貢献できるものと考えております。

平日準夜間診療にご協力いただいている先生は総数34名ですが、全員青梅市医師会員であり、現時点では他地区・公立病院・大学病院の医師にお願いすることなく、診療体制を立ち上げることができ、大変誇りに思っております。将来的には病院のB会員の先生方、他地区のご賛同をいただける先生方にもご協力をお願いし、西多摩地域全体の中核となるような診療体制を構築していきたいと考えております。その節は是非多くの先生方のご参加・ご協力をお願い申し上げます。

最後に平日準夜間診療にご参加いただいております先生方に敬意を表し、ここにお名前を紹介させていただきます。今後とも宜しく願い申し上げます。

（文責：野本正嗣）

平日準夜間診療担当医師名簿（敬称略、順不同）

氏名	病医院名	氏名	病医院名	氏名	病医院名
足立 卓三	足立医院	坂元 龍	坂元医院	馬場 誠	馬場医院
荒巻 武彦	荒巻医院	桜井 徹志	桜井クリニック	林 博昭	林レディースクリニック
井上勇之助	井上医院	笹本 隆夫	笹本医院	藤野 淡人	藤野医院
江本 浩	梅郷診療所	笹本 光信	笹本医院	堀田 洋夫	小曾木診療所
大堀 洋一	大堀医院	鈴木 史朗	武蔵野台病院	三浦 剛士	青梅三慶病院
大山 高広	東原診療所	田中 穂積	田中医院	宮下 吉弘	沢井診療所
片平 潤一	片平医院	千葉 正敏	千葉医院	三島 淳二	みしま泌尿器科クリニック
川口 卓治	東青梅診療所	土田 大介	土田医院	百瀬真一郎	百瀬医院
三輪 俊博	東青梅診療所	中島 均	中島内科循環器科クリニック	森本 晋	大河原森本医院
小林 杏一	小林医院	成井 研治	ナルケンキッズクリニック	吉野 聰彦	吉野医院
古味 隆了	下奥多摩医院	野本 正嗣	野本医院		
坂本 保己	青梅市健康センター	馬場 潤	二俣尾診療所		

5 歳児健診事業（東京方式）の実施について

地域医療部 池谷 敏郎



軽度発達障害とは注意欠陥/多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）、高機能自閉症やアスペルガー症候群を含む高機能広汎性発達障害（HFPDD）、軽度精神遅滞の4つと定義することができます。軽度発達障害児の発生頻度をみると、2006年の厚生労働科学研究によれば、5歳児の8.2～9.3%と報告されています。また、文部科学省特別支援教育課が2002年度に小中学校を基盤として行った調査では、6.3%（軽度精神遅滞を含まず）と推計され、30人のクラスに1～2人は軽度発達障害児がいることになるかと報告されています。すなわち、5歳児健診を行えば、小中学校で把握される軽度発達障害児のほとんどを5歳の段階で見つける可能性があるのです。

軽度発達障害は、集団生活を体験する幼児期以降になってはじめて、その臨床的特徴が顕在化し、心身症や学校不適応といった問題をかかえるようになります。そのため、3歳児健診を最終とする現行の乳幼児健診システムの中では充分に対応できていない可能性があります。これは現行の乳幼児健診の質が不十分というよりも、年齢的に見えていないためであると推定されます。前述の厚生労働科学研究でも5歳児健診で軽度発達障害児とされた子供の半数以上が、3歳児健診では異常なしと診断されていたことが指摘されています。

この度、東京都医師会は、3歳児健診と就学時健診の間に5歳児の乳幼児健診を行い、健やかな身体発育の確認と現行の健診では限界があるとされる発達障害の発見の機会とすることを事業目的とした「5歳児健診－東京方式－実施要綱」を発表しました。都医ではこれまで数回の研修会を開催してきましたが、今後さらに地区医師会においてブロック別研修会の開催を予定し、5歳児健診の普及に努める方針とのことです。

要項によると、5歳児健診の対象者は「医師会や診療所で広報した中で受診を希望した者」とされ、事業担当者は「小児科医師と乳幼児健診受託医師」となっております。ちなみに医師への報酬は今のところ無償（ボランティア）とのことです。しかし、健診に携わるマンパワーには限度がありますので、小児科医に限らず園医・学校医、その他日常臨床で小児の診察を行う機会のある先生方にも、ぜひ積極的に健診の実施にご協力いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、「5歳児健診－東京方式－実施要綱」等は東京都医師会ホームページ内に掲載し情報を提供する予定となっております。

「多摩ブロック5歳児健診研修会」の開催について

多摩ブロック医師会内の会員の先生方を対象として、「5歳児健診事業－東京方式－」に基づき、5歳児健診の重要性・手法・留意すべき点等を習得していただくための研修会が下記のとおり開催されます。

記

1. 日 時 平成22年7月2日（金） 午後7時30分～午後9時30分
2. 場 所 パレスホテル立川 3F「こぶし西」 立川市曙町2-40-5 Tel. 042-527-1111
3. 講 師 東京都医師会次世代育成支援委員会委員
平山 貴度 先生
秋山 千枝子先生
4. 費 用 無料
5. 定 員 80名

理事会報告

★ Information

4月定例理事会

平成22年4月27日(火)

西多摩医師会館

[出席者：横田・田坂・鹿児島・野本・川間・江本・川口・山川・宮城・近藤・池谷・岩尾・大島・足立・松原]

【1】報告事項**1. 都医地区医師会長連絡協議会報告（副会長）****2. 各部報告**

学術部 5月総会前の講演会について

「当センター回復期リハビリテーション病棟の現状」

公立阿伎留医療センター 岡田真明先生

経理部 4/21 経理部会（平成21年度収支計算書他について）

4/23 松原、足立両監事による会計監査を実施

3. 地区会よりの報告

青梅市 5/10 より平日準夜診療事業が開始される。

福生市 5/7 例会開催（今後の福生医師会会務の検討）。

羽村市 4/20 総会開催

あきる野市 4/19 例会（日本脳炎について）

瑞穂町 4/22 懇親会（日医の生涯教育制度について紹介）

日の出町 総会開催

4. その他の報告事項

4/15 東京都医師会感染症対策委員会が開催されました。特別な報告事項はなし

【2】報告承認事項**1. 入会会員について** —— 承認 ——**2. 平成22年度多摩医学会役員推薦について**

横田卓史・鹿児島武志・江本浩 —— 承認 ——

3. 西多摩地域保健医療協議会委員の推薦について —— 保留 ——**4. 公立福生病院開放型病院運営委員会委員の推薦について** —— 承認 ——

横田卓史・田坂哲哉・山川淳二・新井敏彦・野本止嗣・小机敏昭（各地区長）

【3】協議事項

1. 平成 21 年度各部事業計画（案）の承認について —— 承認 ——
2. 平成 21 年度収支計算書（案）等の承認について —— 承認 ——
3. 平成 21 年度西多摩地域産業保健センター事業精算報告の承認について —— 承認 ——
4. 平成 21 年度青梅青色申告会医師会支部総会（平成 21 年度事業報告、同会計報告、平成 22 年度事業計画案、同予算案）の承認について —— 承認 ——
5. 平成 22 年度西多摩医師会第 1 回定時総会通知文、次第案及び総会議長について
—— 承認 ——
6. 法人制度移行検討会開催前の基本情報の共有について
日医ホームページ内の「新公益法人制度」情報提供パスワードについて
—— 各自確認 ——
7. 東京都あきる野学園より障害者（学齢期、青年期）の受診に関して、診療機関に対するアンケート調査の依頼について —— 承認 ——
8. その他
 - 東京都医師会各種委員会委員（本会選出）の定例理事会への会議内容報告について（理事会の仕方に項目追加）（横田会長）
 - 会館建設準備委員会の招集について（同要綱）
委員長（横田会長）及び副委員長（中野前副会長）が各地区長を 3 月 31 日付け退任したため、委員会を招集し、委員長、副委員長を新委員の中から互選により選出する
 - 西多摩医師会学術講演会（含その他のこれに準じた講演会）申込書、参加証について
 - 行事日程について協議（新旧役員会懇親会 6 月、および納涼会の夕べ 7 月）

5 月定例理事会

平成 22 年 5 月 11 日（火）

西多摩医師会館

〔出席者：横田・田坂・鹿児島・野本・江本・川口・宮城・蓼沼・大島・近藤・池谷・川間・松原・足立〕

【1】報告事項

1. 各部報告

- 総務部 4/28 「西多摩地域におけるがん検診の現状について」
青梅市立総合病院にて行った東京都議会議員との勉強会報告
- 5/21 総務会予定（新公益法人制度移行）

- 学術部 5/20 学術講演会（青梅市立総合病院）「ガイドラインから考える効果的な降圧薬の併用法」獨協医科大学教授 石光俊彦先生（1.5 単位 73, 74, 82）
- 5/31 学術講演会（公立阿伎留医療センター）「慢性 C 型肝炎治療のトピックス」
日本大学消化器肝臓内科学分野教授 森山光彦先生（1 単位 27, 73）
- 産業医 4/26 産業保健センター相談（東芝情報機器 過重労働 高木敏先生指導）
- 5/10 産業保健センター相談（五光社 うつ病 塩沢先生指導）

2. 地区会よりの報告

- 青梅市 5/17 幹事会（決算総会日程・新公益法人移行・特定健診他）
Hib ワクチン 1 回 4000 円の補助（医療機関が市に請求する方式）
- 福生市 5/7 幹事会、Hib ワクチンが福生市の検討事項とすることとなった
- 羽村市 5/11 特定健診について行政より説明（実施期間 6/1～10/31）
- あきる野市 5/17 総会開催
- 瑞穂町 Hib ワクチン接種費助成事業が本年 6 月より開始される 1 回 4000 円の補助が決定している
日本脳炎の予防接種は 10 月より実施について
日の出町

3. その他の報告事項

Hib ワクチンの接種の件は各地区で各々検討し、または地域医療部で検討、機が熟した段階で西多摩地区一律の方向で補助が出るように提言、要請をする

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——
2. 西多摩地域保健医療協議会「保健福祉部会」委員の推薦について
蓼沼翼先生を推薦 —— 承認 ——

【3】協議事項

1. 各理事意見聴取
2. その他
 - 6/15 北多摩医師会館で開催される多摩医学会役員会に鹿児島武志副会長が出席（前年会長医師会が司会進行し今年の医師会に引継）
 - 6/14 新旧理事の懇談会

氏名 何川 宇啓
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 沼口 俊平
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 小松 智英
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 小林 俊
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 平野 智寛
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 池田 俊貴
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 赤松 智久
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 市川 学
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 河合 繁夫
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 栗山 廉二郎
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 斉藤 正徳
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 佐藤 史郎
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 白井 康大
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 杉浦 真貴子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 須原 宏造
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 田中 誠一
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 寺島 宙
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 中川 祐介
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 中明 結花
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 並木 伸
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 西村 陽子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 松倉 満
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 山口 恵
勤務先 青梅市立総合病院

【自宅住所変更】

かごしま眼科 鹿児島 武志
(新) 青梅市河辺町4-21-10-202
(旧) 武蔵野市境南町4-10-5

成木診療所 横森 弘一
(新) 国分寺市泉町2-9-1-2209
(旧) 国立市中3-11-1-917

あいざわ整形クリニック
(新) 立川市富士見町3-18-11-402
(旧) 立川市錦町2-6-22-301

表紙のことば



『田植えのころ』

今年5月の連休の新潟の風景です。天候不順で、農作業が遅れ、田起こしもまだ済んでいない状態でした。例年ならば田植えが見られる頃なのですが、少々心配になりました。当日は素晴らしい天気です。春の一日を満喫できました。

稲垣壮太郎

お知らせ

事務局より お知らせ

平成22年7月(6月診療分)の

保険請求書類提出**7月8日(木)**

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相談日 6月は9日(水)
7月は14日(水)の予定です。
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

あ と が き



前広報担当の鹿児島先生より
広報担当を受け継いで初め
での医師会報誌発行です。

まずは何とか形作ることが
できましたが、至らぬことば
かりです。

私としては、『できないことは約束しない
こと』と思っていますので、無難なことから
こつこつと何とかこなしていこうと考えてい
ます。ですから『そんなことが可能なか!?!』
というようなびっくりするような紙面の展開
はできないし、新たな企画の提案もできない
かもしれません。しかしながら多くの会員の
先生方なるべく隔々まで眼を通して頂ける
ような内容にはしたいと思っています。

話は変わりますが、特定健康診査が今年も
今まで同様に実施されるようです。厚労省から
は納得のいくような過去2年間の検証が無
いようにも思います。今年で3年目、西多摩
医師会の中でも自治体独自の追加項目につ
いてはかなり開きがあるようにも思います。お
そらくは自治体ごとの予算の違いやマンパ
ワーがそのまま健診内容に影響を与えてい
ると思います。

今後事業仕分けのようなことが行われたと
きにこの健診は意義が無かったのではないか
とならないように誰もが納得のいく検証がな
されなくてはいけない状態にあるように思
います。過去2年間の身を削るような多忙な健
診が無駄にならないようにしたいものです。

近藤之暢

訃報

鈴木 繁様 (68歳)

瑞穂町箱根ヶ崎 282 パインフラット 1F
すずき瑞穂眼科
院長 鈴木 寿和先生 (ご尊父様)

去る5月15日ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

訃報

林 敬三様 (92歳)

青梅市東青梅 3-8-8
林レディースクリニック
院長 林 博昭先生 (ご尊父様)

去る5月20日ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

社団法人 西多摩医師会

平成22年6月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 近藤 之暢

鹿見島武志 江本 浩 鈴木 寿和 馬場 眞澄
菊池 孝 桑子 行正 土田 大介 奥村 充

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993



一般医薬品
医療機器卸

酒井薬品株式会社

福生営業所 〒197-0013 東京都福生市武蔵野台2-34-4

TEL (042) 553-3211 (代)

本社 〒181-8551 東京都三鷹市野崎1-11-22

TEL (0422) 47-2131 (代)

営業所 小平・八王子・町田・川越・相模原・伊勢原

診療所向け電子カルテシステム



BMLには誇りと実績があります。

★日本全国のお客様をサポートしてます。

★全診療科に対応してます。

★多彩な入力ツールを用意してます

★多くの連動システムに対応してます

★オンライン請求に向けたレセ電算化に
全国で対応可能です。



株式会社 **ビー・エム・エル**

埼玉第三営業所

TEL:049-232-0111



東京厚生信用組は
福祉・医薬・医療・環境
衛生の関連事業者の
発展に寄与してまいります。

東京厚生信用組は、
医療関連事業を営む皆様を
対象として、1953年に設立された
協同組織の金融機関でございます。

既に各地区医師会で多数の会員の皆様
にご利用頂いております。これからも、
会員の皆様に密着した金融機関として
努力して参ります。

安心と信頼の
パートナー

貴重なお時間を有効にお使い
いただくため、訪問による相談
業務を得意としております。

お問い合わせは：医師会様担当 落合まで
●本部〈フリーダイヤル〉

ふくしほえんご

0120-294805

ご融資

- ・クリニック運営資金
- ・学術研究資金
- ・ご子息の教育資金
- ・記念パーティー等の資金
- ・お車購入資金
- ・その他どんな事柄でも
ご相談くださいませ。

都医ニュースでお馴染みの「東京厚生信用組」です。



「人間・福祉・環境」にやさしい
東京厚生信用組

本 店 新宿区西新宿6-2-18/浅草支店 台東区駒形1-1-12
小平支店 小平市美国町1-31-1/青梅支店 青梅市河辺町10-8-3